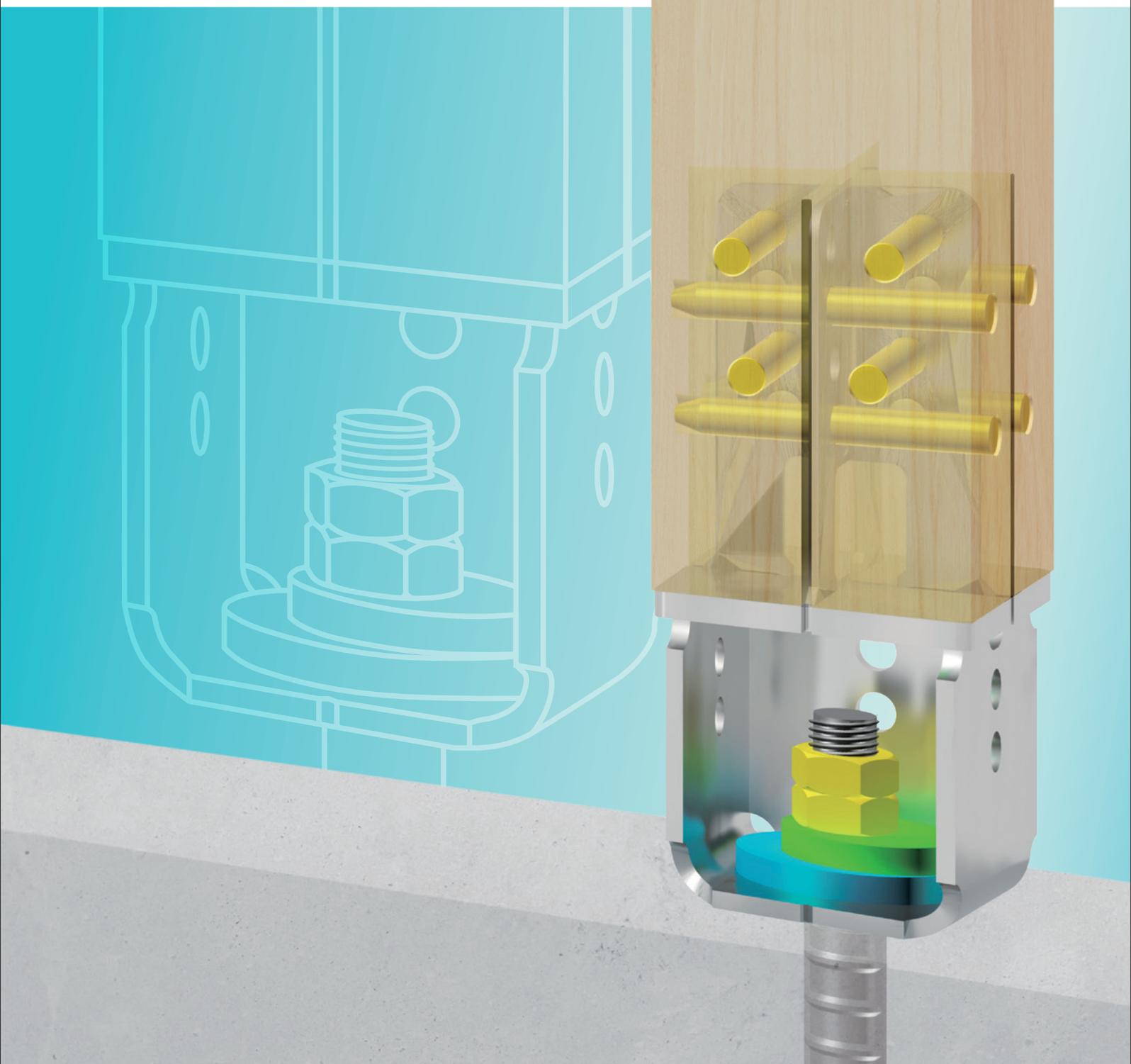


高耐力柱脚金物

施工誤差吸収タイプ

ピタットベース[®]

PAT.



岡部株式会社

okabe

特長

高い引張耐力

短期許容引張耐力 60.0kN
(使用環境Ⅱ)

せん断耐力

短期許容せん断耐力 20.0kN
(使用環境Ⅱ)

圧縮耐力

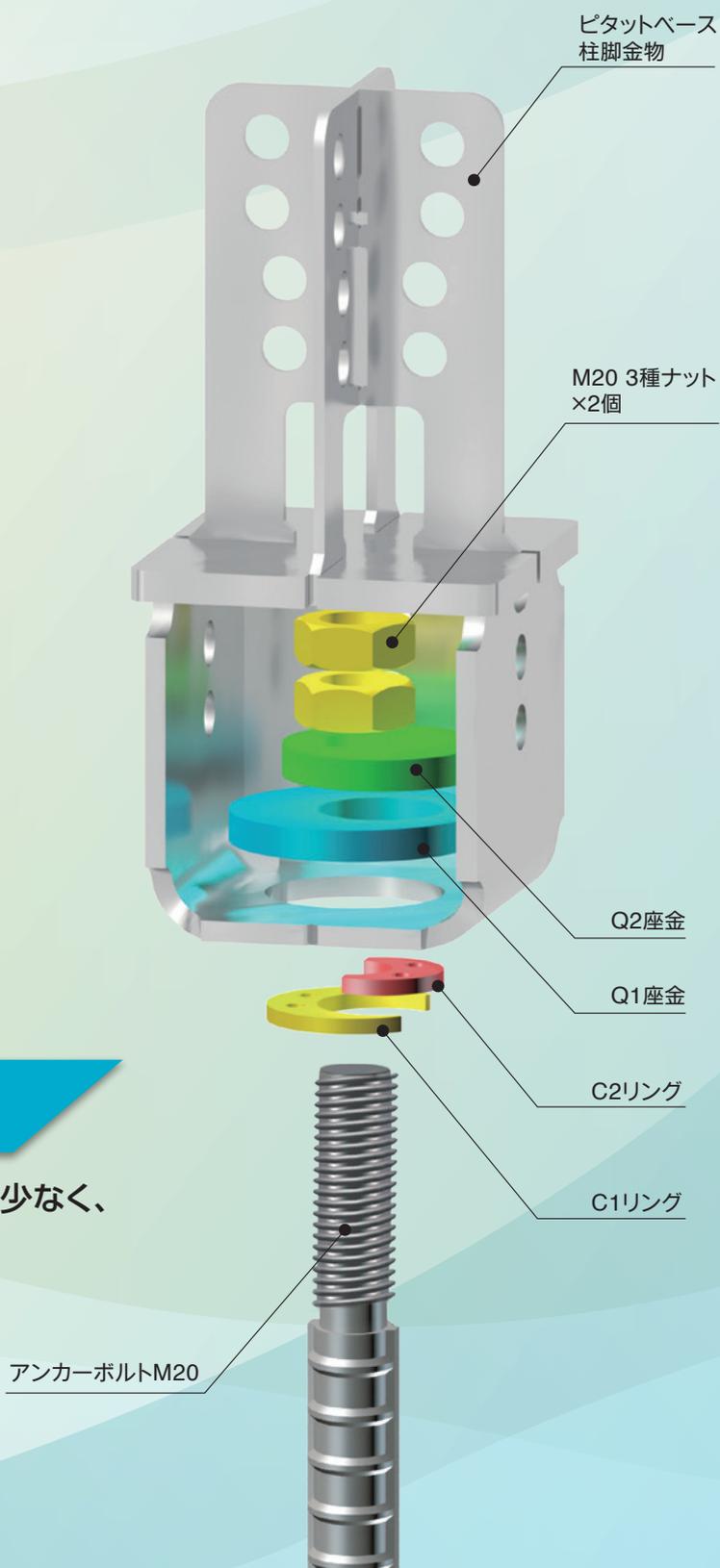
短期許容圧縮耐力 102.2kN
(使用環境Ⅱ)

施工誤差を吸収

アンカーボルト施工誤差
水平方向に±15mm対応

接合部の納まりをスッキリ

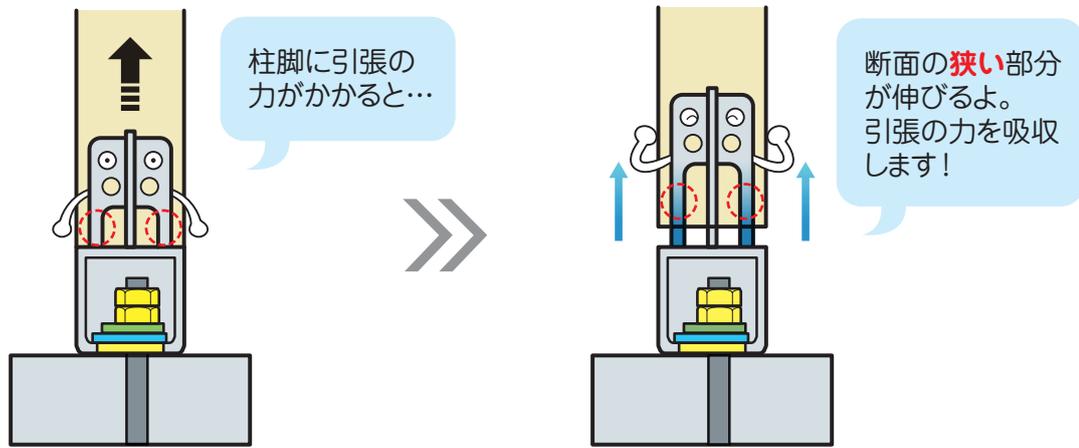
ホールダウン金物、接合金物の干渉が少なく、
断熱材の納まりや意匠性もスッキリ



01

安定した引張性能と靱性効果を発揮

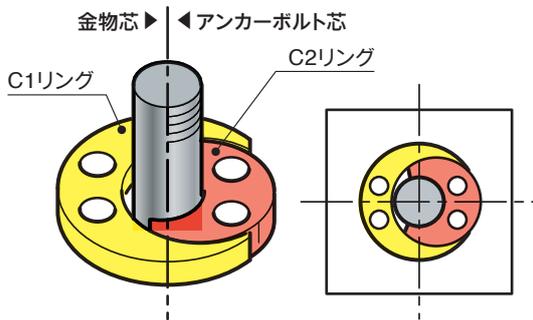
■ 柱脚金物に**狭い**断面を設けることで、金属の粘りを活かした靱性を発揮します



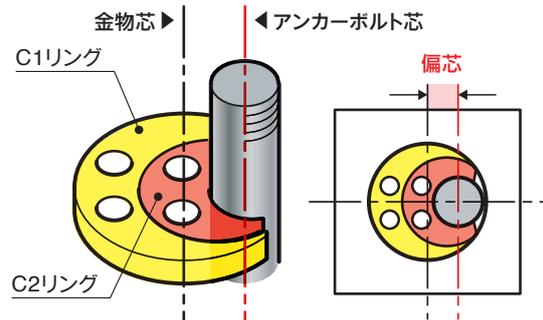
02

アンカーボルトの施工誤差 (±15mm) を吸収

■ アンカーボルト芯と金物の芯が一致するとき



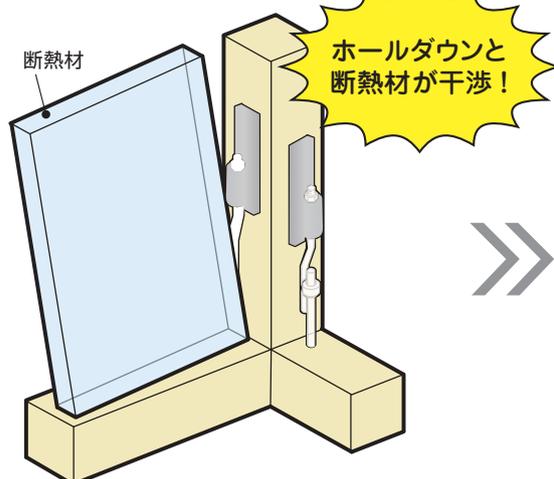
■ アンカーボルト芯と金物の芯が一致しないとき



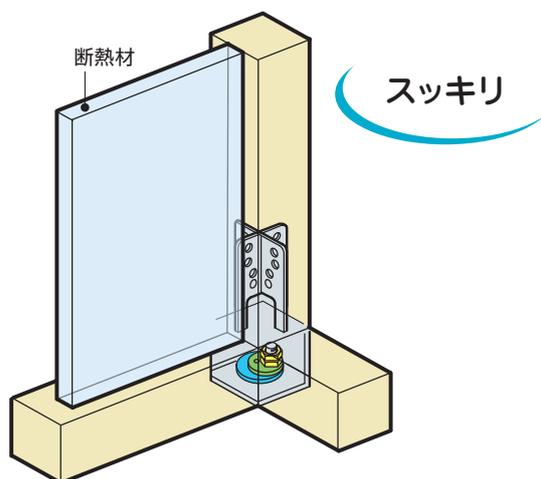
03

接合部・断熱材の納まりがスッキリ

■ 従来では

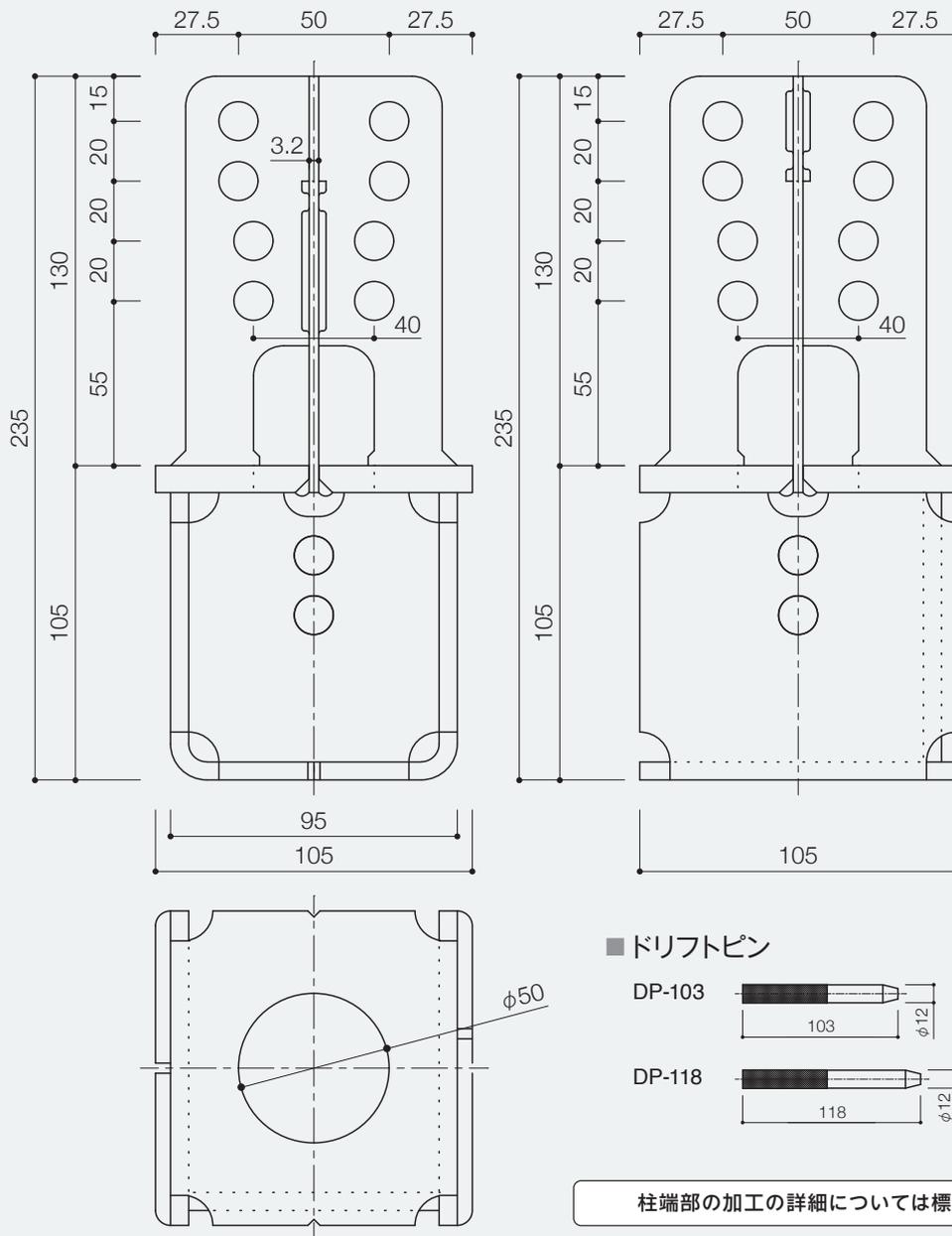


■ ピタットベースをつかうと

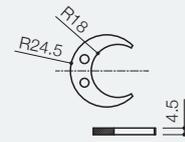


部品寸法

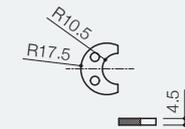
■ピタットベース柱脚金物



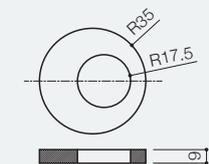
■C1リング



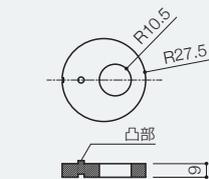
■C2リング



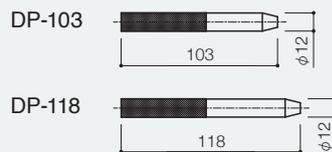
■Q1座金



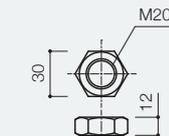
■Q2座金



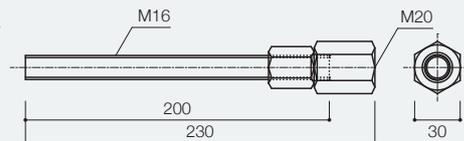
■ドリフトピン



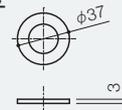
■M20 3種ナット



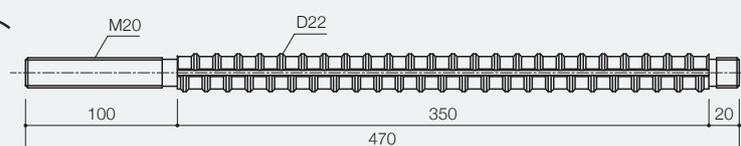
■アンカー吊下ボルト



■M20座金

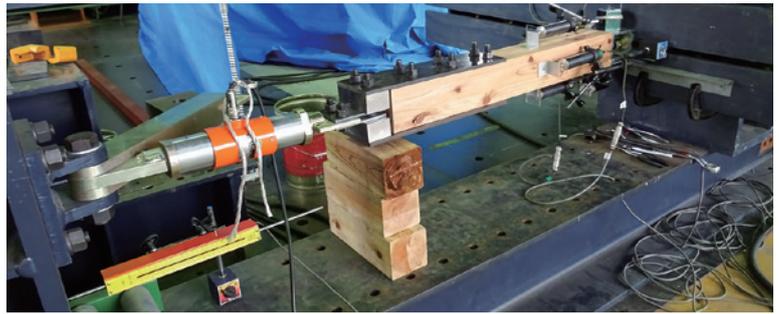
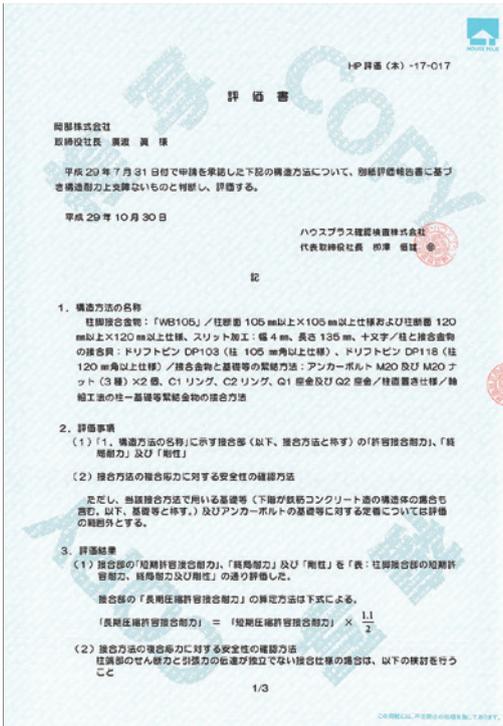


■M20アンカーボルト



評価

■ ハウスプラス確認検査株式会社 HP評価 (木)-17-017



ハウスプラス確認検査株式会社 評価書(写)

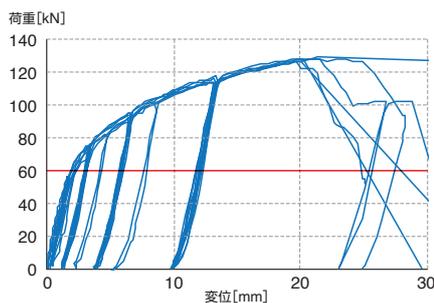
評価試験風景 於) 岡部株式会社 構造実験センター

性能

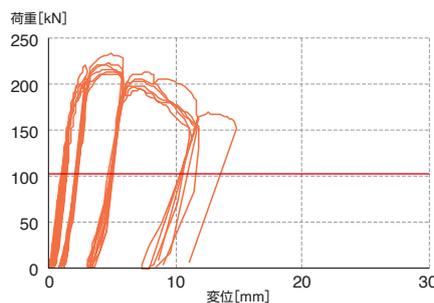
		環境	短期許容 接合耐力 [kN]	終局耐力 [kN]	剛性 K_{3mm} [kN/mm]
製材	引張	I	49.2	64.2	13.0
		II	60.0	78.4	15.8
		III	62.9	92.5	18.7
	圧縮	I	84.7	115.8	39.7
		II	102.2	139.7	47.9
		III	121.1	165.4	56.7
せん断	I	16.6	23.5	4.9	
	II	20.0	28.3	5.9	
	III	21.9	33.5	7.0	

		環境	短期許容 接合耐力 [kN]	終局耐力 [kN]	剛性 K_{3mm} [kN/mm]
集成材	引張	I	55.0	72.1	15.2
		II	63.2	87.4	18.4
		III	63.2	103.8	21.9
	圧縮	I	88.8	121.3	41.6
		II	107.6	147.1	50.4
		III	127.8	174.6	59.9
せん断	I	17.4	24.6	5.1	
	II	21.0	29.8	6.2	
	III	23.1	35.4	7.4	

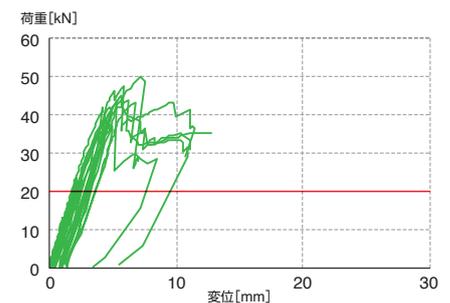
※ [使用環境I] 常時湿潤状態における環境 [使用環境II] 継続的に湿潤状態となる環境 [使用環境III] 通常の使用環境(使用環境IおよびII以外の環境)



短期許容引張耐力60.0kN
(使用環境II)

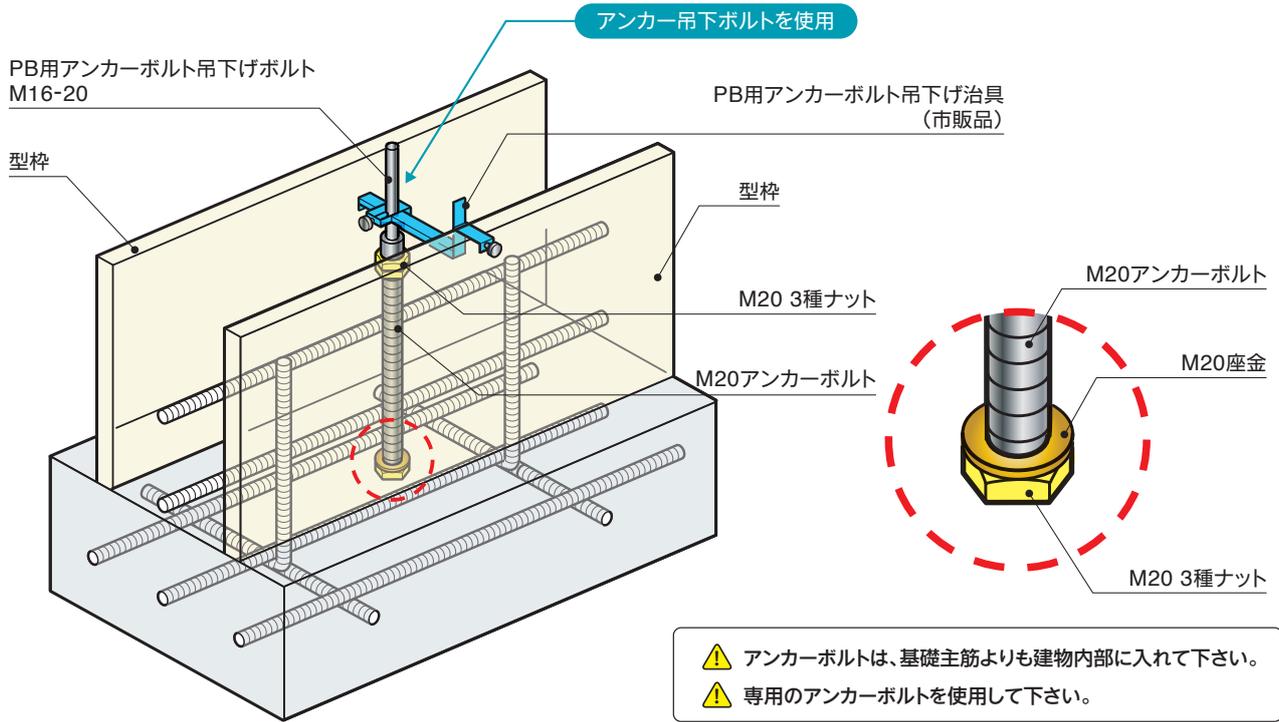


短期許容圧縮耐力102.2kN
(使用環境II)

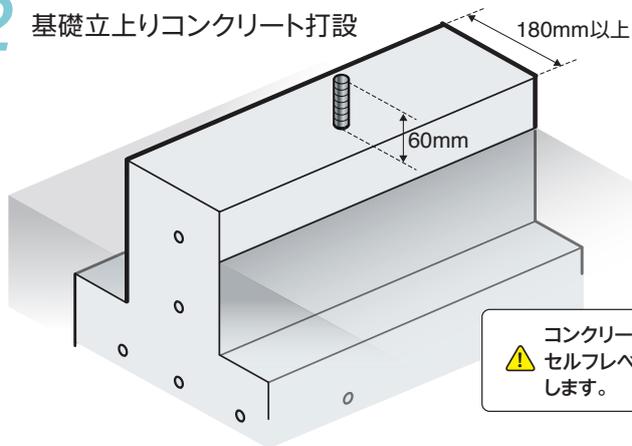


短期許容せん断耐力20.0kN
(使用環境II)

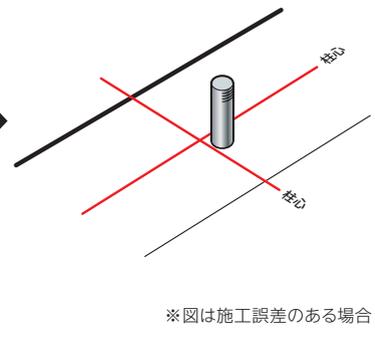
1 アンカーボルト設置



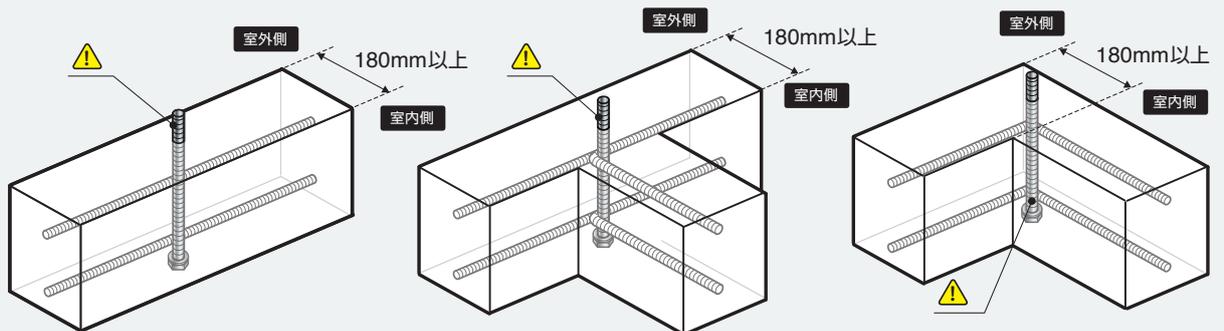
2 基礎立上りコンクリート打設



3 墨出し



■ 配筋注意事項 納まり図



※納まり図は、基礎主筋とアンカーボルトの関係を示した模式図

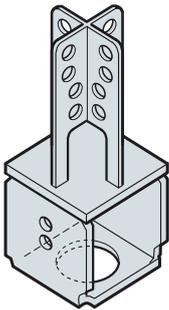
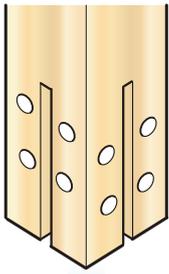
鉄筋およびアンカーボルトは必要なかぶり寸法を守って下さい。

⚠️ アンカーボルトは、基礎主筋よりも建物内部に入れて下さい。

4 ピタットベース柱脚金物と柱を接合

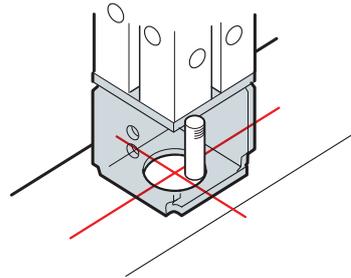
※柱のスリット・孔寸法は標準図をご参照下さい。

柱

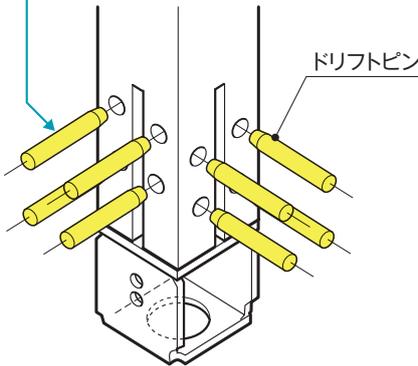


ピタットベース柱脚金物

5 柱脚金物を墨に合わせて設置

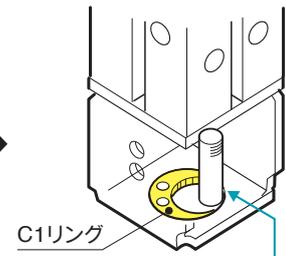


ドリフトピン8本使用



ドリフトピン

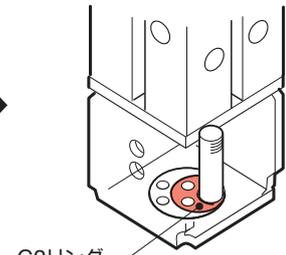
6 C1リング挿入



C1リング

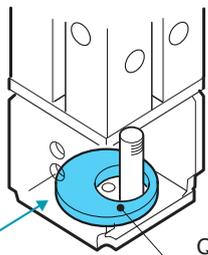
C1リングとボルトが接触するように設置

7 C2リング挿入



C2リング

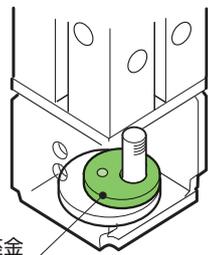
8 Q1座金設置



Q1座金

Q1座金を柱脚金物の穴に均等に
乗るように設置

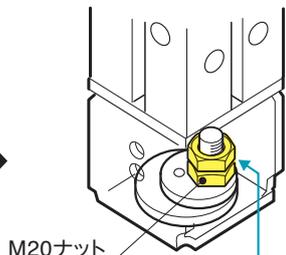
9 Q2座金設置



Q2座金

⚠ 凸部を下向きにして下さい。

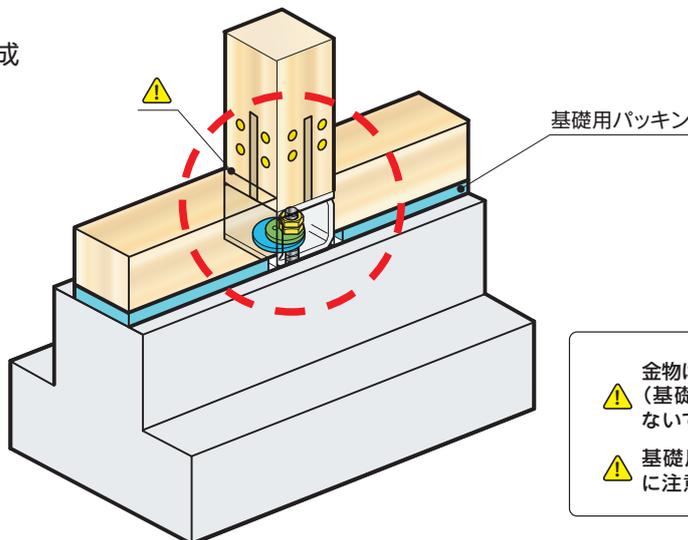
10 M20ナット取付



M20ナット

締付標準トルク: 40N・m

Finish 完成



金物は**基礎に直接設置**してください。
(基礎用パッキンやゴムなどを間に入れないでください。)

⚠ 基礎用パッキン使用時は、**土台との干渉**に注意して下さい。

構成部品

ピタットベース105 (柱105mm×105mm以上) 1箱あたり

- ピタットベース柱脚金物:1個
- C1リング:1個
- Q1座金:1個
- M20 3種ナット:2個
- ドリフトピン(DP-103):8本
- C2リング:1個
- Q2座金:1個

ピタットベース120 (柱120mm×120mm以上) 1箱あたり

- ピタットベース柱脚金物:1個
- C1リング:1個
- Q1座金:1個
- M20 3種ナット:2個
- ドリフトピン(DP-118):8本
- C2リング:1個
- Q2座金:1個

共通

- ① ピタットベース用アンカーボルトセット:1セット (M20アンカーボルト:1本、M20 3種ナット:3個、M20座金:1枚)
- ② ピタットベース用アンカーボルト吊下げボルトセット:1セット (吊下げボルトM16-20:1本、M20 3種ナット:2個)

⚠ 取扱いにおける注意事項 (別紙の取扱説明書をご一読下さい)

- 必ず付属のリング、座金、ドリフトピンを用い、所定の数量で所定の位置に接合して下さい。
- 柱脚金物がドリフトピンの長さの中央に位置するように施工して下さい。
- ドリフトピンの穴をふかして使用しないで下さい。
- ドリフトピンの打ち込みによって木材に割れが生じた場合、木材を取り替えて下さい。
- 接合、締め付け工具類は、適切なものをご使用下さい。
- 本製品はコンクリート基礎の上に直接設置して下さい。
- 現場で防錆・防蟻処理を行う場合は、金物に薬剤が付着しないように注意して下さい。
(金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。)
- 放り投げたり、ハンマーで叩くなど、乱暴に扱うと破損や変形の恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないで下さい。

⚠ 免責事項

本製品に問題が発生した場合には、下記の免責事項を踏まえた上で対応させていただきます。

- 本カタログに記載した注意事項が行われずに発生した不具合。
- 本カタログに記載した事項に反した施工が行われた不具合。
- 本カタログに記載する使用目的以外の使用による不具合。
- 施工業者による施工、取扱いに起因する不具合。



〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2
TEL.03(3624)5401 FAX.03(3624)5154
<https://www.okabe.co.jp/mokuzo/pitattobase/>

北海道支店	011(873)7201	千葉営業部	043(290)0150	関西支店	九州支店	092(624)5871
東北支店		横浜営業部	045(651)1741	大阪兵庫営業部	福岡営業部	092(624)5886
仙台営業部	022(288)7161	北関東営業部	0480(25)5656	京滋営業部	大分営業部	097(547)8861
盛岡営業部	019(606)3780	特販営業部	03(5637)7196	中四国支店	長崎営業部	095(882)8282
信越支店		名古屋支店		広島営業部	宮崎営業部	0985(29)4965
新潟営業部	025(287)7711	名古屋営業部	0568(71)6321	岡山営業部	熊本営業部	092(624)5873
長野営業部	026(217)2445	静岡営業部	054(204)2050	山口営業部	鹿児島営業部	099(812)8380
東京支店	03(3623)6441	北陸営業部	076(238)7353	山陰営業部	沖縄支店	098(856)2700
東京営業部	03(3623)8181			四国営業部		

●特約店・取扱店